

今年度は臨時休校期間がありましたので、1学期の終業式は7月末となっています。暑い毎日が続きますが、子どもたちは学習と休み時間の切り替えを上手にして頑張っています。

2回目の研究授業は、この4月に赴任された今津先生(5年生)に行っていました。本単元は、「身近な家族に向けて、環境問題について考えたことを資料を用いて報告文を書く」という言語活動を設定していました。授業と事後研の様子をお知らせします。本時は、目的に応じて収集した情報から資料を選択する4/7時間目です。

授業参観の視点(3点)に沿ってグループで協議を行い、全体共有しました。(抜粋)

1. 本時の目標は達成できたか。

- 「資料の特性」の掲示が効果的だった。グループ協議を一度止めて、資料を見る視点や着目するところをおさえて良かった。
- 事前に資料から分かることなどを書き、読み取りができていた。
- ▼収集した資料を全て比較していたので、制限をかけて(本時まで自身で厳選しておく)本時で選択する。



2. 児童が本気になる課題の工夫があったか。

- 伝える相手が家族で、家族が納得する、家族のために資料を選ぶなど相手意識を持っていた。
- ▼どの資料を選ぶかその効果を考えると、資料はカラー印刷して準備しておく。
- 代案 環境問題についてのDVDを見る。⇒自分事として考える。
総合的な学習の時間のテーマなど他教科等との関連を図り、学習活動を充実させていく。

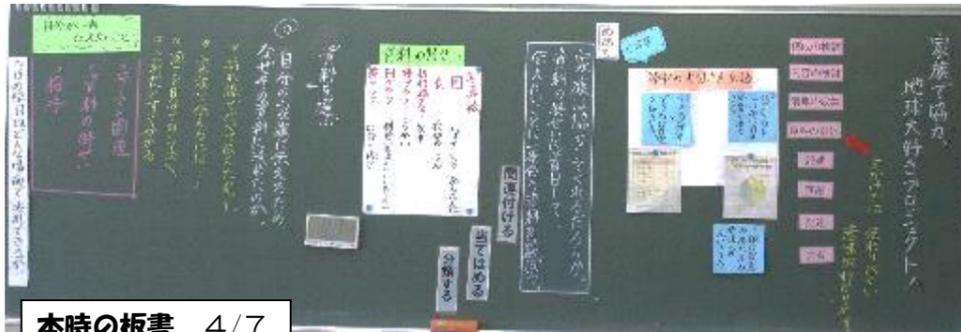
3. 「言葉による見方・考え方」を働かせたための手立てがあったか。

- テーマを付箋に書いてあることで、グループ対話の手立てになっていた。
- 友達の伝えたいことと資料を比べてふさわしいものを考えていて、グループでの話し合いが効果的だった。
- ▼資料のどの部分に自分の伝えたいことがあるのか、印など付けていくとよかった。
- ▼発言や説明の際、正しい表現を身に付けさせていく。

単元名 「家族で協力、地球大好きプロジェクト!」 全7時間
教材名 「環境問題について報告しよう」 研究授業: 5年 今津 教諭
身に付けさせたい資質・能力: 引用したり、図表やグラフなど資料を用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書く力

学習の流れ

「家族で協力、地球大好きプロジェクト!」
 学習の流れ(全7時間)
 1. 学習の見通しを持つ
 環境問題について、自分の考えが伝わるように報告文を書く
 2. 調べたことを報告する文章を書く
 ・教科書を基に報告文の書き方を知ろう
 ・伝えたいことを整理しよう
 ・伝えたいことに合った資料を集めよう
 ・伝えたいことに合った資料を選ぼう
 ・報告文の下書きを書こう
 ・推敲する
 ・清書をする
 3. 報告文を交流し、感想を伝え合おう
 付けたい力
 資料(図表やグラフなど)を用いて、自分の考えが伝わるように報告文を書く力



本時の板書 4/7



この資料から分かることは・・・



比較し、伝えたいことに一番適切な資料を選びます。

宗崎指導主事より(本単元・本時の学びのポイント)

①本時で付けたい力(伝えたいことに合う適切な資料を選び出す)に向かう手立て

- ・資料の特性を提示 目的・意図に応じて選ぶためのポイントとなっていた。「資料の特性、使っていますか?」と確認したり、中間評価を入れたりしていた。
 - ・伝えたいことが手元に 自分のテーマ・伝えたいことに沿って資料を選ぶことができる。
 - ・教師のこだわりを示す 「先生だったら、この文章にはこの資料でないか〜」メッセージとして伝えている
- ②構成の検討が重要 伝えたい内容→構成(どんな順序・内容がいいか)→資料選び→伝えたい内容
自分のテーマに沿って行き来しながら書き進めていくとよい。

③次時以降の学習に関わって「書き表し方の工夫」

考えと事例が合っているか、伝えたいことに沿って言葉を選んで書く、言葉にこだわらせたい。学習指導要領解説(考えの形成・記述)をおさえて進めたい。書き表し方を工夫することが「読むこと(説明文など)」の学習にもつながっていく。

「この間、教室の電気・扇風機がついていて・・・。先生の家でも・・・」今津先生の体験談から始まった単元の導入。子どもたちは関心を持って聞き、「ほくの家でも。」「あるある!」沢山の声上がり、学習がスタートしました。

楽しく温かい雰囲気の中で、子どもたちを共感的に受け止めながら進められている今津先生。実態に応じて、全体で学習内容を再確認したり、個別支援したりして1時間を大切に積み上げられていました。友達のことと一緒に考え、助け合いが自然にできる一体感のある子どもたちの姿を見せていただき、ありがとうございました。

「資料をもっと探したい!」「続けて国語したい!」等々、意欲的な態度で学習している子どもたちです。

書く目的・伝える相手に応じて必要な情報を収集し、その内容を整理しながら文章構成・内容を再検討していく姿、文章の種類や特徴に応じて書くべき大事な事柄を押さえて、考えを明確にしなが書き進めていく姿を目指して、学びを進めていきましょう。



授業者のリフレクションシートより

目標 話し合いを焦点化させるため、扱う資料の枚数に上限を持たせることが必要だということに納得でした。資料を自分で絞ってさらに視点をはっきりさせることが大切だと感じました。

課題 本単元の言語活動は、児童の実態に合っており、毎時間意欲的に思考し活動する姿が見られる。

見・考 グループ対話の際、自分の伝えたいことに合う資料を選ぶために、もっと資料にある言葉にこだわるよう、赤で印をしたり、線を引いたり囲んだりする予定であったが、教師が説明しておらず、こだわらせることが弱かった。